



松原とらつきよう畑の間でひらひらする大小のキルト。遠くから眺めても、近くで見ても素敵です。

第21回「潮風のキルト展」

黒潮町の秋を彩る「潮風のキルト展」が、11月13日から15日まで、入野松原で開催されました。

今年も、県内や愛媛、東京などから応募のあった41作品と協力キルトを展示しました。また、特別企画展としてあかつき館で「フックド・ラグ展」も同時開催し、キルト展の審査員を務める小林恵さんと生徒の作品を展示しました。フックド・ラグとはキルトと同じくアメリカからやってきたものでフックのように引つ掛けながら作ります。開催最終日は天気も良くてたくさんの方が来場しました。

サンタがあかつき館にやってくる！ 光の切り絵イルミネーション

12月5日大方あかつき館で、切り絵作家の酒井敦美さんによる「光の切り絵イルミネーション」を開催しました。

会場では、日が沈んでから正面玄関前に4台のプロジェクトを使ってサンタクロースやトナカイ、雪の結晶など、16種類の切り絵の映像が10分ごとに切り替えられ、映し出されました。

また、あかつき館内レクチャーホールでは、サンタクロースに会いたい子どもを主人公にした、物語仕立ての切り絵の上映会も行われました。訪れた方たちは、音楽に合わせて展開していく切り絵の映像をじっくりと眺めたり、写真に収めたりして楽しんでいました。



レクチャーホールでの室内点灯の様子。

黒潮町社会福祉大会・福祉まつり

11月29日、保健福祉センターで第10回黒潮町社会福祉大会・福祉まつりが行われました。

社会福祉大会では町長表彰(模範高齢者)5人、町社協会長表彰(優良介護者)2人の表彰式の後、拳ノ川小学校、佐賀小学校、大方中学校の代表生徒による作文発表がありました。

午後からの福祉まつりでは、土佐の国笑いと癒し研究所・及川勝栄さんを招き、「笑いヨガ」と題した講演を行いました。受講者は隣の方と向き合い、褒め合ったり、声を出して笑うなど、たくさんの方の笑顔が見られました。

また保健福祉センター前では、飲食店やフリーマーケットを開催。福祉まつりの最後にはお楽しみ抽選会を行い、たくさんの方の来場者でにぎわいました。



ラフターヨガ(笑いヨガ)講師の及川勝栄さんによる講演。

高知県いい歯の表彰

8020(ハチマル・ニイマル)運動とは、人生80年時代にふさわしく、「80歳で20本以上の歯を保ち、豊かな食生活を楽しんでいただき、活力ある高齢時代を築いていただく」ことを目的とした運動です。

このたび、黒潮町在住の濱田幸子さん(80歳)が26本の歯が残っていたことで、高知県知事から「高知県いい歯の表彰」を受賞しました。

今年、高知県で8020運動達成者は5人でした。濱田さんは「幼い頃は歯ブラシも無く、塩で歯を磨いていました。特別なことはしていなかったが、抜けることなく残っていた」と話していました。

老後に丈夫な歯が残っていると、食生活も豊かになり、健康的に過ごすことができそうです。定期的に歯科受診をしましょう。



11月22日、高知県歯科医師会館で表彰式が行われました。